

[施策49 職員育成]

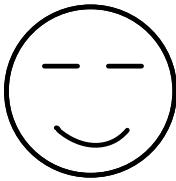
[施策総合評価]

Ⓑ (8.0点)

[目指す姿]

座間市の職員は、地域主権社会において、中長期的展望を踏まえた行動目標を持ち、直面する課題解決に対し自ら考え、自ら行動しています。また、協働社会において、ニーズを的確に把握する中で、快適な市民サービスの提供を実践しています。

[まちづくり指標]

指標1 職員の待遇（対応）に満足できる市民の割合		現状値						目標値(年度)	
①	単位:% (アンケート)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
			—	—	—	25	—	33	40
(指標の説明) 平成22年度の市民アンケート調査結果では「良い」「やや良い」と回答した市民の割合は、25%でした。この割合を平成32年度までに本施策の推進により50%に高めることを目標として設定しています。									
(現状と課題) 職員研修及び人事異動による職員育成に加え人事評価制度の試行を実施する一方、定員管理計画による職員削減を実施し、さらなる効率的行政経営資源の活用と質の高い市民サービス提供を行います。									
(進ちょく度ランク) 進ちょく度 32% やや順調									
									
(今後の方策) 総合計画を基本とした行政評価、人事評価、機構改革、定員管理に加え、職員研修や健康管理等と連動した人事管理を進め、職員の能力と意欲の向上を図ります。									

[内部評価]

495101 職員研修事業

総合評価 8点

地方分権が進展する中で、自治体職員に求められる政策形成能力や創造的能力など、様々な課題に対して十分対応できる人材の育成は重要であり、今後も研修内容の精査を行いより効果の高い研修を実施する必要がある。

[外部評価]

アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度 64% 37位/52施策

重要度 6.7% 24位/52施策

外部評価委員（評価・提言 H25年1月実施）

- 1 職員の定員削減や基礎自治体への権限移譲が進む中で、専門的知識を有する職員の育成や確保に、より一層努めるべきである。
- 2 近隣職員同士による圏域連携研修などのテーマ研修により、多様な交流を通し職員の能力育成を図るとともに、研修終了後は公開による研修報告会を開催し、研修成果を庁内で共有すべきである。

外部評価（外部評価委員）に対する対応

- 1 引き続き、市町村研修センター等の派遣研修の受講者を広く募集すると共に、研修内容によっては職員課から受講の打診を職員にしていくよう努めます。
- 2 引き続き、県央三市での研修会を行うと共に、公開用の研修報告書の作成を検討します。

[施策50 法務・情報公開]

[施策総合評価] . . . 設定なし

[目指す姿]

本市では、条例や規則などが整備され、適切で透明性の高い行政経営が行われており、市民から信頼されています。

市民は、行政が保有する様々な情報の中から必要となる情報をより簡単に入手し、活用しています。

[まちづくり指標] . . . 設定なし

[内部評価]

設定なし

[外部評価]

アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度 54.9% 48位/52施策

重要度 1.7% 46位/52施策

[施策 5 1 電子自治体]


[施策総合評価]

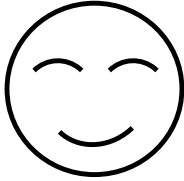
Ⓐ (9.3点)

[目指す姿]

本市では、ICTと情報機器を活用し、情報システムの最適化が図られ、市民サービスの向上や行政事務の効率化を進める一方で、情報セキュリティが厳格に守られています。

[まちづくり指標]

指標 1 「座間市電子自治体推進指針」の策定		現状値						目標値(年度)	
		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
	単位:進捗 (担当課調)	—	—	未策 定	未策 定	着手 済	策定 済	策定 済	改訂 済
	(指標の説明) 「座間市電子自治体推進指針」の策定の進捗管理を示しています。								
	(現状と課題) 制度改正に伴うシステム改修等によって情報システム全般が複雑・肥大化しており、管理運用経費の増大や高度情報化への対応が難しくなっている状況です。								
①	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 75% 順調								
	(今後の方策) 策定した電子自治体推進指針を全庁に周知し、これを基にICTを効率的に活用するとともに、庁内の推進体制も含めた業務の最適化を実施します。								

指標 2 市職員の情報セキュリティポリシー理解度		現状値						目標値(年度)	
	単位:% (担当課調)	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H27	H32
		—	—	88	—	93	94	95	95
②	(指標の説明) 平成 22 年 3 月の職員アンケート調査結果では「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した職員の割合は、88%でした。この割合を平成 27 年度までに本施策の推進により 95%に高めることとし、それ以降はその水準を維持することを目標として設定しています。								
	(現状と課題) 新たな脅威が発生した場合、対策としてその都度、最新の動向を調査・分析し対応していますが、庁内研修の実施や関係機関との連携強化を図りながら、職員の情報セキュリティポリシーの理解度の向上に努めています。								
	(進ちょく度ランク) 進ちょく度 85.7% 順調								
									
(今後の方策) 座間市が保有するすべての情報資産の保護や適正処理及び情報システムが高度な安全性を有することが不可欠であることから、職員の情報セキュリティポリシーに対する理解度を高めるための庁内研修等を継続実施します。									

[内部評価]

515101 神奈川県市町村電子自治体共同運営事業

総合評価 8点

電子申請・届出をインターネットにより常時可能とすることは、市民サービスの向上に効果的であり、また、県及び各自治体との共同で運用することは、コストの面で効率的である。今後は、市民全体に周知を図り利用の拡大に努める必要がある。

515204 業務継続計画（ICT部門）策定事業

総合評価 9点

大規模地震災害等の発生時であっても、重要な業務を継続又は早期に復旧するためには ICT 部門の業務継続計画策定の必要がある。さらに、電子自治体構築の一環として、業務継続計画の有効性は高い。

[外部評価]

アンケート結果（H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」）

関心度	49.9%	51位/52施策
重要度	1.7%	46位/52施策

[施策 5 2 財務・財産管理]

[施策総合評価]

Ⓐ (9.0点)

[目指す姿]

市有財産を利用者の視点に立ち適切に維持管理するとともに、効率的で的確な会計処理、契約や検査を行っていることで、市民に信頼されています。

[まちづくり指標] . . . 設定なし

[内部評価]

525201 市庁舎維持管理事業

総合評価 9点

市庁舎及びふれあい会館の施設を適正に維持管理し、市民の利用に際し安全かつ利便性、快適さを維持するために必要である。

525507 優良工事表彰事業

総合評価 9点

優良工事を施工した受注者を評価し表彰することで、受注者の技術と意識の向上につながり、より質の高い成果品を得ることが出来る。さらに、高い技術力を持った受注者を育てることで工物品質の確保、不良・不適格業者の排除につながり有効である。

[外部評価]

アンケート結果 (H24年7月実施「まちづくりのための市民アンケート」)

関心度	64.6%	36位/52施策
重要度	3.0%	37位/52施策